

平成 27 年度第 1 回愛南町入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成 27 年 8 月 26 日（水）午後 2 時から 愛南町役場本庁 3 階 第 3 会議室	
出席委員氏名	委員長 大賀 水田生（愛媛大学大学院理工学研究科教授） 委員 尾崎 亘宏（元愛媛県建築住宅課技幹） 委員 増田 裕（税理士） 委員 青木 千之（元愛南町監査委員） 委員 松本 宏（弁護士）	
審議対象期間	平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日	
抽出案件	総件数 3 件	（備考） 抽出の考え方 無造作に案件を抽出。（青木委員が案件を抽出。）
一般競争入札	2 件	
指名競争	0 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	質問・意見	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙

意見・質問	回 答
<p>議題 1 H25・26 年度愛南町入札契約状況について</p> <p>・特になし</p> <p>議題 2 抽出事業の審議について 【随意契約】 愛環クリ修第 5 号 愛南町クリーンセンター遠心分離機点検整備ほか 3</p> <p>・近い時期に複数の同種整備工事を発注しているが、まとめて入札できなかつたのか？</p> <p>・今回のように個別に発注することは特別だったということか？</p> <p>【一般競争入札】 H26 簡水建第 6 号 愛南町簡易水道統合整備工事 1（緑水源地浅井戸改修）</p> <p>・一般競争入札で参加可能地域を「国内」まで広く求めた経緯は？</p>	<p>・例年、年間定期整備工事を発注していたが、当該施設がH26 年度末で稼働停止予定であることから、定期整備工事を発注を見送り、稼働停止までの間、その都度必要最低限の緊急修繕工事を発注したものである。</p> <p>・そのとおりである。</p> <p>・本工事は「さく井工事業」と専門性が高く、施工可能業者に限られることから、当初は県内の 6 業者による指名競争入札としていたが、全社が辞退したため不調となった。その後、施行可能な潜在業者の応札を期待し、入札参加可能地域を広く設定したものである。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・入札参加者が1者のみであるがどう考えるか？ ・入札参加条件として設定した施工実績は？ ・入札参加条件に合う対象業者は何業者程度見込んでいたのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・手持ち工事量や本工事の採算性などを各社が判断した結果だと思われる。 ・φ1000 mm以上のケーシング工法の施工実績があることを参加条件とした。 ・本町の入札参加有資格者名簿に掲載された業者のうち「さく井工事業」の許可を有する14者である。
<p>【一般競争入札】 愛南町新庁舎建設工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加者が1者（JV）のみであるがどう考えるか？ ・入札参加条件に合う対象業者は何業者程度見込んでいたのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・同時期に県内の他の大型公共施設の発注が見込まれていたこと、また、近隣市で耐震改修工事が多数発注されたことにより、配置予定技術者が不足していたのではと推測する。 ・22者確認していた。
<p>議題3 総合評価落札方式における総合評定値に対する疑義申立について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
<p>議題4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	